



仲間をつくりながら  
楽しそうに仕事を  
する人を増やしたい

(株)西村工務店  
代表取締役  
西村 勇二

## 理想なんてなかった僕が、理想を目指す理由

西村工務店。

ここは僕の「理想をかなえる場所」です。

明治時代から続く家族経営だった小さな工務店を、**楽しそうに仕事をする仲間が集まる会社にする**。そんな理想を掲げて、いま仕事に励んでいます。

思えば僕は、家づくりのことも建築のことも何も知らない状態で、父が代表を務めていた西村工務店で働くようになりました。理想なんてなかったし、会社を経営したいなんて思ってもいませんでした。それなのに、なぜいま僕は「良い家を仲間達と楽しく作りたい」という理想を目指す経営者になっているのか。その理由をお伝えします。



【本店】大阪市西成区岸里東1-6-23  
【支店】大阪市西成区岸里東2-16-16-201



06-6659-2413



<https://nishimura-t.com>



## 「ほめられて伸びる」を実感

小学生のころから、ずっと柔道をやっていました。僕は典型的な「ほめられて伸びるタイプ」。小学生時代の柔道の先生は、僕の良いところを引き出し、ほめて育ててくれる人でした。だから楽しくて楽しくて、自分から練習に取り組んでいました。そのかいがあって、海外遠征に行くほど強くなりました。

ところが、スポーツ推薦で入学した中学校で、僕はとたんに良い成績を残せなくなりました。規則にがんじがらめの日々が始まったからです

「かわいがり」という先輩からのしごきは当たり前前、ほめられて伸びるのとは真逆の環境。**まったくモチベーションが上がらず、練習の目的を見失ってしまいました。**

そんな経験から、高校は柔道の強い高校ではなく、工業高校に進学しました。でも柔道そのものは好きだったので、柔道部に入部し、小学生のときのように自主的に練習を工夫して打ち込みました。その結果、大阪府下でもトップクラスの成績の残せたのです。

僕は思いました。

「**自分から自発的にやったことは、身になるんだ**」。

## 逃げるようにゼネコンを辞めた

高校を卒業した僕は、ゼネコンに就職しました。4年間、朝から晩まで休みなく働き、休日は上司といっしょに好きでもないゴルフに連れ回される日々。僕にとってはあまりにも過酷な職場でした。

それとは対照的に、父は西村工務店で悠々と仕事をしていました。僕の目には「ラクして稼いでいる」と見えたのです。**どうせ働くのならラクして給料をもらいたい**。そう思い、逃げるようにゼネコンを辞めて、西村工務店で働くようになりました。

## 「ラクして稼ぐ」は幻想だった

ところが、働き始めて一年経っても、仕事らしい仕事来ないのです。心配になり、初めて会社の経理に目を向けたとき、僕は愕然としました。西村工務店が、借金に借金を重ねて成り立っていることが分かったからです。ラクして稼いでいるように見えたのは、上辺だけに過ぎませんでした。

ものすごい不安を感じました。この先10年後、20年後、自分が西村工務店を担っていかなければならないのに、こんな状態でやっていけるのか…。

「何やってたんだ」と愚痴を言いたくなりました。でも、22歳だった当時の僕には、家をつくる知識も技術も、頼れる人脈も十分にありませんでした。「偉そうなことを言っても、自分には何もできない」。すごい劣等感を感じました。能力が何もない自分を突きつけられました。

そのとき僕は、ある決心をしました。

「家づくりに関わる資格を全部取ろう」。

資格の勉強くらいしかやれることがなかったというのが本当のところですが、その日からとにかく勉強しました。資格の学校に通い、休日も正月も、母が緊急入院したときも病院でテキストを開きました。

そうやって**猛勉強したおかげで、数え切れない資格を取ることができました**。すごいねとよく言われますが、不器用だったので、ほどほどに勉強することを知らなかっただけです。

## 不安な思いはさせたくない

資格を取りまくり、家づくりの仕事をこなせるようになった頃、大きな転機が訪れました。**西村工務店に家族以外の仲間を迎える**、という転機です。資格学校で知り合った人が、務めていた会社を辞め、うちに来てくれることになりました。

人を雇うだけの力があつたわけではありません。だけど、せっかくうちに来てくれるのだから、ちゃんと採用したいと思いました。



そのために僕が考えたのが、**西村工務店を個人事業ではなく、会社という組織にする**、ということでした。会社勤めをしていた人が、個人の工務店に転職するのはものすごく不安だろうし、その家族はもっと不安なはず。そんな思いはさせたくなかったので、2018年、西村工務店を株式会社にしました。

## いっしょに働く仲間をつくってあげたい

西村工務店はいま、毎年のように新しい社員を迎えています。仕事が増えているからというより、今いる社員に仲間をつくってあげたいんです。

でも、新しく人を採用するときは正直びくびくしています。仕事をちゃんと増やせるだろうか、お給料をしっかりと払えるだろうか。不安で食事が喉を通らなくなるときもあります。

だけど僕は、西村工務店を、良い仲間がたくさんいる会社にした。お互いがお互いを放っておかない、関わり合いながら仕事を楽しんでいる、そんな職場にすることが、良い家づくりにつながると思っています。**会社を少しずつ大きくしているのは、社員に楽しく働き続けてほしいから**。ただその一点だけです。

僕が尊敬する経営者のみなさんは、もれなく、社員を大切にしています。僕もそんな経営者を目指しています。まだまだ未熟な僕ですが、こんな僕を少しでも好きになってくれるとうれしいです。

